

海運〈経営・全般〉

2020年8月7日

ダイキンの空気清浄機を全船導入 さんふらわあ、感染症対策で独自基準



ツーリストに導入した空気清浄機とフィルター

フェリーさんふらわあ（赤坂光二郎社長）は、日本旅客船協会が定めた新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドラインを遵守することに加え、独自の「さんふらわあ基準」を設けて感染予防対策に取り組んでいる。ダイキンMRエンジニアリングが販売する抗菌・抗ウイルスフィルターや業務用空気清浄機などを運航する全船に導入。船内を医療機関レベルの空気清浄度に保つようにし、乗客への安心・安全の提供に努めている。

各客室やパブリックスペースのエアコンに、抗菌・抗ウイルスフィルターを9月上旬以降順次導入する。同フィルターは、表面に付着したウイルスを2時間で99.995%低減化させ、室内の空気を清浄に保つ。プロムナード、レストラン、大浴場などパブリックスペースにも、高性能HEPAフィルター付き業務用空気清浄機を9月中旬以降順次導入する。

客室のツーリスト（相部屋）では定員を削減し、隣と一定間隔をあけた配席を行っている。さらに一部の客室では、ダイキン製業務用空気清浄機「パワフル光クリエール」を8月3日以降順次導入している。同清浄機は、ストリーマ技術でカビ、細菌、ウイルスなどを5層構造でパワフルに分解し、1分間あたり最大12立法mの空気を循環させて室内の空気を清浄に保つ。ダイキンは7月、独自のストリーマ技術により新型コロナウイルスに対する不活化効果が確認できたと発表している。これらの整備を行った客室やパブリックスペースには、順次対策済み

のステッカーを貼る。

また船の清掃業者は、“ダイヤモンド・プリンセス”の除菌消毒作業を実施した専門業者ユニゾン社の除菌研修を修了して、徹底した消毒作業にあたっている。船内も、従来より一定時間内（約10～19分）で外気と入れ替わるよう換気している。

フェリーさんふらわあは、大阪／別府、神戸／大分、大阪／志布志の各航路2隻で毎日運航している。



船内消毒するスタッフ